

氏名	大隈義文
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第446号
学位授与の日付	昭和45年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	糖尿病の集団検診と発見患者の家系調査
論文審査委員	教授 平木 潔 教授 大藤 真 教授 小坂 淳夫

学位論文内容の要旨

糖尿病患者の見出には一般にTes-Tape が用いられているが之が正確度を検出するためにGlucostatとの比較検査を行い尿糖の定量値に於てほぼ一致が認められTes-Tape を用いて尿糖の集団検診を行うことは一応妥当である。然し正常群の上界値は5%棄却限界値で0.077mg/mlであるので土のものはほぼ0.121±0.12ふきんであるので、正常人で無いものと考えて、Check する場合には土のものも一応考慮する必要があると考える。

一方公衆衛生学の領域に集団検診は行なわれているが、家系調査と組合せて行った例は無い、家系調査を行うことは濃厚家系の発見に依って若年性糖尿病の防止及家系を調査することに依って、能率よく糖尿病を発見出来る特徴を有する。此の観点から著者は兵庫県加西郡全域（現在加西市と改称）(人口49,736名)に於て家系調査に注目しながら調査を行った。その結果、濃厚家系（患者3名以上出現）9家系を発見し又家系調査から30才以下の若年性糖尿病3名（男2名、女1名）を発見、又同時に血糖負荷時の型を調査したところ、各自特有の「パターン」があり、5年後も比較的变化しないことがわかった。濃厚家系にはⅢ型（1時間値>2時間値>空腹時間）が多い事が見出された。糖尿病発見率は集団検診では8,047名中124名で1.5%、家系調査により645名中140名で23%であり、後者がはるかに高い、又若年性糖尿病の出現率は家系に糖尿病を有するものが多く、死亡者も見出された。

論文審査の結果の要旨

糖尿病につい公衆衛生学での集団検診は行なわれているが、家系調査と組合せて行った例はない。家系調査を行うことは濃厚家系の発見によって若年性糖尿病の防止および家系を調査することによって能率よく糖尿病を発見出来る特徴を有している。

著者は兵庫県加西郡全域において家系調査に注目し乍ら調査を行い種々価値ある知見を得ている。従って本研究者は、医学博士の学位を得る資格があるものと認める。